

(シンポジウム「ロボット手術の最前線」)序文

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-07-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 田邊, 一成 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/00032851">http://hdl.handle.net/10470/00032851</a>

## 第 86 回東京女子医科大学学会総会

日 時：2020 年 9 月 26 日（土）13：00～15：00

会 場：オンライン会場

※総会は書面開催といたしました。

総司会（副会長）清水京子

### シンポジウム「ロボット手術の最前線」

座長（東京女子医科大学病院病院長）田邊一成

1. AI×ロボットの実装を目指す高機能版スマート治療室 Hyper SCOT  
(東京女子医科大学先端生命医科学研究所) 村垣善浩
2. 泌尿器科領域におけるロボット手術の現状  
(東京女子医科大学泌尿器科) 高木敏男
3. 産婦人科領域におけるロボット支援下手術の現況  
(東京女子医科大学産婦人科) 舟本 寛
4. 呼吸器外科ロボット手術の現状  
(東京女子医科大学呼吸器外科) 神崎正人
5. 消化器外科におけるロボット手術の最前線  
(藤田医科大学総合消化器外科) 宇山一朗
6. ロボット支援下心臓手術の最前線  
(東京女子医科大学 心臓血管外科, 千葉西総合病院 心臓血管外科) 中村喜次

## 序 文

(東京女子医科大学病院長) 田邊一成

外科手術の進展は目覚ましいものがあります。特に、ダビンチによるロボット手術は多くの外科手術で保険適応となったことから急激にその症例数が増えてきています。最も早く導入が進んだ泌尿器科領域では手術全体の60%以上がロボット手術ないしは腹腔鏡手術となっています。今後この傾向はさらに強まるものと考えられます。ロボット手術の導入により術後回復は劇的に良くなり、術後の痛み止めの必要性も著しく減少しております。現

在、当院では、最新型のダビンチ Xi 3 台が稼働しており、泌尿器科をはじめ、呼吸器外科、婦人科、消化器外科などを中心にロボット手術が行われ本邦トップクラスの症例が行われています。

今回の東京女子医科大学学会総会シンポジウムでは、各領域のロボット手術の第一人者がロボット手術の最先端の情報を発表いたします。